

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	保健医療 課 保健予防係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）】
第4次総合計画の 該当項目	<input type="checkbox"/> 3節 <input type="checkbox"/> 1項 <input type="text" value="母子保健の向上"/>

業務の名称	母子保健事業		
(1)根拠法令・条例	母子保健法		
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>19.6</u> % (系の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>299</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>51</u> 人・日)		
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>46,007</u> 千円 (平成20年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))		
(4)補助率(補助金がある 場合のみ記載)	<u>0.</u> % (平成20年度実績)		
(5)業務期間	開始した年度	平成 9 年度	終了(予定)年度 年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

①業務目的 (達成目標)	妊婦、乳幼児及び保護者、家族の健康を確保するとともに、子育ての不安や悩みを少なくすることを目的とする。
②業務が対象とする住民 (地域、層)	妊婦及び乳幼児とその保護者及び家族
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	母子健康手帳交付、パパママ教室、妊婦健康診査、こんにちは赤ちゃん事業、電話相談、乳幼児健診、相談、健診事後指導教室、子育て相談事業を実施。

平成20年度は、母体と胎児の健康管理を目的とし、妊婦健康診査の公費負担回数を2回から10回に拡大した。また、生後3から4か月の乳児とその保護者を対象に保健師、助産師による訪問指導を強化した。

【業務結果の説明指標】

結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
1	こんにちは赤ちゃん訪問	17人	130人	166人	362人	
2	パパママ教室	36回	36回	36回	36回	
3	乳幼児健診、相談	2,559人	2,517人	2,765人	2,895人	
4	妊婦健康診査の公費負担回数	2回	2回	2回	10回	
5						

④業務の実施結果
(平成20年度実績)

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

- 1 こんにちは赤ちゃん事業及び子育て不安等に対応するための訪問指導に対応する人材の確保
- 2 発達障害等早期に発見、対応するための幼児健康診査の内容、体制の充実
- 3 子育て不安等に対応する相談事業の充実

(8) 改善実績（過去4年間の実績）

妊婦健康診査の公費負担回数については、出産までに公費負担回数が平成18年度、19年度2回であったが、平成20年度からは、10回に拡大した。
こんにちは赤ちゃん事業については、訪問実施者数が、平成18年度130人、平成19年度166人であったが、平成20年度は362人と増加した。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	三段階評価 (2～0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	1点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	2点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	2点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	2点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	1点
2点：成果あり、適切だった　1点：ある程度適切だった　0点：適切でなかった、遅れている		平均 1.7点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	乳児訪問指導事業等、昨年度に比べ実績は倍増したが、最終目標は全戸訪問であるため

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

①改善目標	次世代行動育成支援計画に基づき、事業について実施回数、内容を充実する。
②改善時期	平成21年度
③改善方法	事業の評価をアンケート等で行い、実施回数、内容等を協議し、見直しを行う。